



特集「わたしが切り撮るいつもの特別」



まちの魅力とは

まちの魅力と聞くと、どんなことを思い浮かべるでしょうか。よく行くお店、居心地のいい空間、お気に入りの場所、会いたい人がいる、雰囲気が好きなど、きっと人それぞれで感じ方は違うと思います。ひよっとしたら思いつかない人もいるかもしれません。

そんな人は、少しだけ毎日の生活に目を向けることで、何気ない暮らしの中の感動や喜びに気付くことがあると思います。

この感動や喜びをまちの魅力としてみんなに知ってもらうため、暮らす人の視線で宇和島の魅力を紹介してくれる「うわじま市民ライター」を募集しました。

語ろうや宇和島の魅力

宇和島で暮らしているからこそ分かる
まちの魅力を市民ライターが紹介します。

市では住んでいる人からは「住み続けたい」、市外の人からはこれからもずっと「関わりたい」と思ってもらえるように、「まちの魅力化」に取り組んでいます。そして、宇和島の魅力である何気ない暮らしの中の感動や喜びを「みんなが発信すること」を大切にしています。

そこで、暮らしている人の目線で地域の魅力を一緒に発信してくれる仲間を増やすため、「うわじま市民ライター」を募集しました。選ばれた10人にはライティングやカメラ撮影などの養成講座を受けてもらった後、宇和島で暮らしているからこそ分かるまちの魅力や地域のために活動している人たちの様子など、身近な「日常の豊かさ」を再発見

できる記事をSNS「note」に投稿してもらいました。その活動について、4人の市民ライターに話を聞きました。



▲市民ライター養成講座の様子



▲SNS「note」に市民ライターが投稿した記事。noteは他のSNSと異なり、ブログのような形で背景や思いを詳しく伝えることができます。

市公式note

みんなで創る、もうひとつの宇和島市公式ホームページ。宇和島を知らない人に市の情報を届けるだけでなく、暮らす人にとっても、普段の何気ない日常の中にある「特別」を再発見してもらえる場所にしていくことを目指しています。市民ライターが投稿した記事は市公式note内の「市民が語る宇和島の魅力」でまとめて紹介しています。



ランニング中に飛び込んできた面白いことを



うわじま市民ライター
中村 健一 さん (なかけん)

転勤で20年ほど前から宇和島に住むようになり、運動不足解消のためにランニングを始めました。走りながら見つけた面白い事をSNSで発信することが今ではライフワークになっています。

読んでくれる人の心に響くように

もともとSNSで情報を発信することが好きでnoteで宇和島のことも紹介していましたが、どうせならもっとこだわってやってみたいと思い、市民ライターに応募しました。趣味のランニング中に目に飛び込んできた地元の良いところや面白いことを紹介していきます。

は、投稿する記事は自分が読んで納得できればいいと思っていますが、養成講座を受けて、読んでもらう人の心に響くにはどうすればいいかよく考えるようになりました。また文章を書くのは苦手でしたが、たくさんの方が書く記事に自信が持てるようになりました。文章力など気にせず、気軽にたくさんの人に市民ライターに応募してほしいです。

SNS「note」の可能性

市民ライターの投稿を通じて、宇和島の風土や文化に興味を持っている市外の人など、これまで関わりの少なかった人がフォロワーしてくれるようになりました。こんなにたくさんの方の宇和島ファンがいることに驚きましたし、自分の記事に共感してくれてうれしかったです。改めてSNSの可能性を感じました。

紹介しきれないほど自慢したいところがあるのが宇和島の魅力だと思います。これからも、若い世代やSNSが得意な人にも宇和島の魅力を伝えられる投稿をして、宇和島の魅力発信の輪をもっと広げていきたいです。



車椅子でも楽しめる場所がある

優しい声掛けで安心して取材ができた

取材先を考えていると、改めてバリアフリー対応の場所が少ないことを実感しました。それでも車椅子や杖で行ける場所を探し、自分が面白いなど感じたものを無理せず自然に記事にするようにしました。養成講座で習ったことを思い出し、同じ場所で撮影するのに写真の印象に違いを出すことを心掛けました。最初は取材に行くのが



うわじま市民ライター
森 奈巳さん (なみ)

バレエの経験を生かし車椅子ダンサーとして、うわじまアンバサダーの中川 奈美 さんのイベントに出演したり、市内のダンス団体のイベントにも参加しています。

不安でしたが、話を聞くとみなさん気さくに答えてくれました。また普段でも車椅子で段差に困っていたら、お年寄りから子どもまで「大丈夫ですか」と優しく声を掛け助けてくれます。人が温かく、安心して過ごせるのが宇和島の一番の魅力だと思います。

自分の発信が外に出かけるきっかけになれば

これから本格的にダンスの活動をしていく予定です

なので、引き続き自分の活動をおして宇和島のことをどんどん紹介していきたいと考えています。

また病気やけがをする、どうしても引きこもりがちになってしまえます。自分の活動を発信することが、車椅子や体の不自由な人でも楽しめる場所が宇和島にあることをみんなに知ってもらい、宇和島に興味を持ってもらうことにより外に出かけるきっかけになればいいなと思います。



人とのつながりの中で見つけた魅力



うわじま市民ライター
溝脇 一輝 さん (かず)

4年ほど前に横浜から宇和島にUターン。趣味だった動画編集を一から勉強し、動画制作・デザインの仕事をしています。コワーキングスペース「UWAJIMA QUEST」のメンバーとしても活動しています。

人と人とのつながりやすさ

せっかく宇和島に帰って来たので地元の魅力をもっとみんなに伝えたいと思い、文章を書くのも好きだったので市民ライターに応募しました。最後まで楽しく読んでもらえるように、リズムよく読みやすい記事を書くようにしました。

宇和島は決して大きなまちではありません

が、その分いろいろな人とすぐにつながることができます。コワーキングスペースの「UWAJIMA QUEST」に関わるようになったのも知合いから「こんな面白い場所があるよ」と紹介されたからです。仕事以外のボランティアや地域の活動などでも交流が広がりました。人と人とのつながりやすさ、親しみやすさが宇和島の魅力だと思います。

闘牛好きの高校生との出会い

仕事先で偶然知り合った闘牛好きの高校生を取材したのですが、彼は本当に闘牛を愛していて、その熱い思いに心を揺さぶられました。記事を書いていてもとても楽しかったです。地元出身ながら今まで闘牛大会を生で見たことがありませんでしたが、取材を機に初めて観戦に行き、白熱し



た試合を堪能しました。市民ライターになったのをきっかけに、新しい気付きや貴重な体験ができました。



感謝の気持ちを伝えたい

子育てを見守ってく
れる人の温かさ

市民ライターの募集を
見たときに、まずとても
楽しそうだと思いまし
た。それで自分だったら
どんな記事を書くかと考
えてみたのですが、宇和
島に来たばかりで知り合
いが少なく子育てでしん
どい時に、優しく声をか
けてくれた地域の人たち
のことが思い浮かびまし
た。スーパリーのレジに並
んでいた時に抱いていた



うわじま市民ライター
船本 亜美さん (ami)

5年ほど前に宇和島へ転勤後、
結婚し宇和島に住むようになり
ました。子どもと一緒に物を作
るのが得意なので、今後、それ
を地域のために生かしたいと考
えています。

娘が泣き出してしまい
困ったことがあるのです
が、前に並んでいた人た
ちが「一番前にきさいや」
と言って順番を譲ってく
れたことがありました。
地域の人が温かく見守っ
てくれ、子育ての困り事
や悩みにすぐに力を貸し
てくれるのが宇和島の魅
力だと思っています。

普段の暮らしの中で

宇和島のことにはまだ
詳しくないので、普段の

暮らしに焦点を当て、感
じたことをありのままに
書きました。取材の計画
を組むことは大変でした
が、「記事を読んだよ」
と声をかけてもらうこと
で、読んでくれた人との
つながりも生まれ、達成
感がありました。

記事を書くことでその
人たちに感謝の気持ちを
伝えることができました
と思います。



魅力を発信する仲間へエール

ホリバタで市民ライターの交流会を開催しました。



これまでの市民ライターの活動を振り返るとともに、ライター同士の親睦を深めるため、2月に交流会を開催しました。

参加者はカードゲームで楽しみながら、これまでの活動について意見を交わしました。市民ライターからは「最初は不安だったが最後まで続けられてよかった。取材をきっかけにいろいろな場所に足を運ぶことができ、楽しかった」、「市民ライターをきっかけに仲良くなれた人がいる。もっとたくさんの人と交流したかった」など感想がありました。また、来年度の活動に向けて、改善・反省点を確認しました。

これからも宇和島の魅力を発信する仲間であることと、市民ライターの今後の活躍を祈ってエールを送りました。

うわじま市民ライター募集について

市では、令和6年度も宇和島の魅力を発信してくれる市民ライターを募集します。条件を満たせば市外に住んでいる方でもどなたでも参加できます。

■参加条件

- Webメディアを活用して宇和島の魅力を国内外に発信することに関心があり、
- ▷スマートフォンを個人で保有（パソコンでもインターネットを閲覧できる環境が望ましい）
 - ▷市民ライター説明・講習会に参加できる
 - ▷宇和島の魅力を紹介する記事について決まった数をnoteに投稿できる
- ※詳しくは、4月以降に市ホームページなどでお知らせします。

■3月の市政広報番組

「うわじま市民ライターについて」
木曜日 午後6時～午前0時
金曜日 午前6時～午後5時
※UCATニュース終了後放送





いつもの中の特別を

まちの魅力を発信すると聞くと、宇和島を知らなかったり関わりの少ない外の人に目を向けることを考えます。しかしそれと同じくらい大切なことは、一番身近にいる宇和島で暮らす人や関わりのある人たちに共感してもらおうことです。

例えば「宇和島出身者の活躍」というニュースを見聞きしたら、地元の人だとうれしくなったり知り合いなどに話したくなります。しかし宇和島に愛着のない人は同じようには感じないでしょう。そのため宇和島に関わりの深い人の共感を得ることが、まちの魅力を発信する上で大きな推進力になります。

普段の何気ない暮らしの中にある「日常の豊かさ」を切り取り、暮らす人の視線で伝える「うわじま市民ライター」。いつもの中の「特別」な瞬間を発信する仲間の輪は、これからも広がります。